事例No.	1289
公表年度	R1
団体の属性	都道府県
団体名	岩手県

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・副業・兼業活用

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

『遠恋複業』はじめませんか？～これからの地域との“新しい付き合い方”～

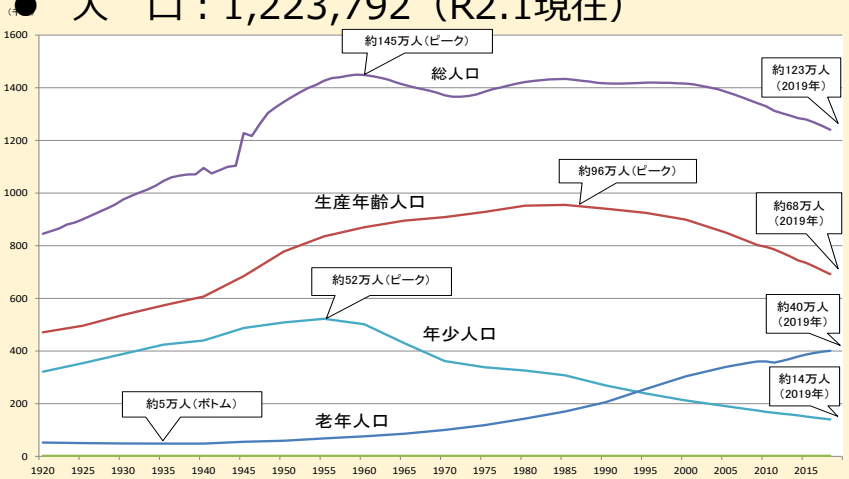
出典

関係人口創出・拡大事業（裾野拡大型・裾野拡大（外国人）型）成果報告会

1.地域概要・地域課題・事業に取り組む背景

地域の概要

- 地域名：岩手県
- 人　口：1,223,792（R2.1現在）



出典：総務省統計局「国勢調査」「人口推計」

- 岩手県の人口は1997年以降減少し続けており、2019年の岩手県の人口は123万人となっている。
- 生産年齢人口は、ピークである1985年と比べ28万人、年少人口はピークである1955年と比べ38万人減少している一方、老年人口は最も少なかった1935年と比べ35万人増加している。

- 産業構造：第1次産業が3.1%、第2次産業が28.5%、第3次産業が67.3%（平成26年、総生産額ベース）

解決したい地域課題

- 人口減少に伴い、地域経済やコミュニティの担い手が減少し、生活利便性が低下することによって、更なる人口減少が危惧される中で、都市部の人材が「複業」によって継続的に地域と関わるきっかけをつくり、新たな発想と地域との触れ合いを通じて、地域に活力を与え、岩手への新しい人の流れを生み出すこと。

本事業に取り組むに至った背景

- 東日本大震災津波以降、全国の復興支援者やボランティアの方々と築くことができた貴重な交流関係を継続・発展させていく必要があったところ。
- また、人口減少が進むなかで、地域の活性化、コミュニティの維持を担う人材不足が懸念されている。
- 県内企業等においても、事業継承や人手不足等の課題を抱えている。

2. 事業概要

●事業概要

＜ターゲット＞
- 「複業」を通じ社会貢献を考えている首都圏の人材

＜概要＞
- 首都圏において、説明会を開催し、現地フィールドワークに参加する複業人材を募集。
- フィールドワーク参加者に対しては、地域や訪問企業の課題について理解を深める事前講座や、企画提案書のブラッシュアップに向けた事後講座を実施。
- 県内の関係案内人育成プログラムを実施。

＜実施事項＞
- 9/30 関係案内人育成研修（盛岡市）
- 10/8 複業人材募集説明会（東京都）
- 11/13 現地フィールドワーク事前講座（東京都）
- 11/23-24 現地フィールドワーク（花巻市）
- 12/7-8 現地フィールドワーク（宮古市）
- 12/18 現地フィールドワーク事後講座（東京都）
- 1/20 関係案内人振り返り研修（盛岡市）

●地域の理想の姿

- 特定の地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・拡大に取り組み、岩手への人の流れを創出し強化する。

●理想を実現するための本年度事業の位置づけ

- 昨年度実施した、「複業」による関係人口創出に向けた取り組みを拡大するため、「複業」人材受け入れ企業・団体の発掘を行う関係案内人育成など、関係人口拡大に向けて取り組む。

●本年度の目標

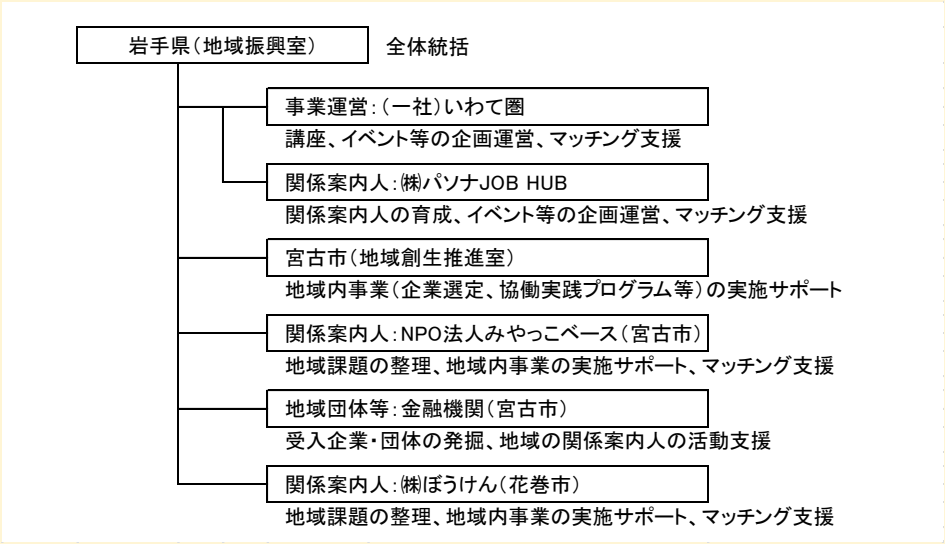
① 本事業のプログラムに参加する企業・団体等10社

② 講座プログラム等受講者数100名

③ マッチング件数５件

3.事業実施体制・スケジュール

●事業実施体制（受け入れ体制を含む）



- 県内各地の移住や地域活性化に関するコミュニティ、人材との連携実績を有し、都市部人材の地方への関わり方、働き方の仕組みづくりに携わっている（一社）いわて圏に事業運営を委託。
- 加えて、全国で複業人材の活用支援実績を有する㈱パソナJOB HUBが再委託先として参画。
- 地域密着で活動している、NPO法人みやっこベース（宮古市）、㈱ぼうけん（花巻市）が地域の関係案内人となり、現地フィールドワークの企画や受入企業・団体等と複業人材とのマッチング支援を実施。

●スケジュール

実施事項	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 募集広報（説明会等）、参加者選定、関係案内人育成研修実施										開催準備					★		事前講座開催							事後講座開催								
2 都市部での地域課題に関する講座													関係案内人育成研修開催			開催準備			★		開催準備	★										
3 各地域での協働実践活動																開催準備					★						関係案内人振り返り研修開催					
4 都市部大型イベントでの情報発信と次年度集客、関係案内人振り返り研修実施										開催準備						★			フィールドワーク開催			開催準備			★							
5 成果分析（参加者アンケート・報告書作成等）													首都圏説明会												成果分析	★	報告書提出					

4.事業の「ターゲット」

●事業のターゲット

- 「複業」を通じ社会貢献を考えている首都圏の人材



●参加者募集のターゲットの設定経緯

- サブワークとしての「副業」ではなく、「複業」として地域に継続的に関わる関係を作るため、地方創生や社会貢献に興味のある層をターゲットに設定した。

●ターゲットへの広報・アプローチ

【実施事項】

- 「複業」を通じて特定の地域に継続的に多様な形で関わる関係を遠距離恋愛に見立て、「遠恋複業」と名付けることにより、首都圏の「複業」人材に対して分かりやすく効果的なPRを実施。

【成果・効果】

- 認知度向上に一定の効果があり、セミナーや現地フィールドワークを通じたマッチング件数は当初設定したKPIの５件を達成する見込みとなっている。
- 地方創生や社会貢献に興味のある層をターゲットとして認知度向上を図ったため、現地フィールドワーク等を実施した後のミスマッチは比較的少なかった。



5.関係人口の活動内容

●参加者（関係人口）が取り組んだ活動の内容

〈現地フィールドワーク事前講座（東京都）〉
【日程】2019年11月13日（水）
【参加者】14名
【内容】
現地フィールドワークの前に、岩手県や花巻市、宮古市の地域や企業の課題について理解を深める座学とワークショップを実施。



〈現地フィールドワーク事後講座（東京都）〉
【日程】2019年12月18日（水）
【参加者】7名
【内容】現地フィールドワークを踏まえて、現地企業の課題等を振り返るとともに、企画提案書（課題解決方法及び自分の貢献・役割）のブラッシュアップに向けたフォローを実施。



〈現地フィールドワーク（花巻市）〉
【日程】2019年11月23日（土）～24日（日）
【参加者】5名
【訪問企業】5社
・A社（漬物製造、弁当屋）
・B社（ゲストハウス、リノベーション専門大工）
・C社（内装施工、モルタル造形）
・D社（花巻野菜の販売、流通）
・E社（旅館）



〈現地フィールドワーク（宮古市）〉
【日程】2019年12月7日（土）～8日（日）
【参加者】7名
【訪問企業】5社
・F社（菓子製造業）
・G社（水産加工業）
・H社（菓子製造業）
・I社（アカモクの加工・販売）
・J社（ホタテ・ホヤの養殖、販売）



6.活動の成果

●本年度の目標達成状況

① 本事業のプログラムに参加する企業・団体等
：10社（目標：10社）
② 講座プログラム等受講者数：84名
（目標：100名）
③ マッチング件数：５件予定（目標：５件）

✓ 花巻市、宮古市から計10社がプログラムに参加した。
✓ 講座プログラム等受講者数は、目標の100名を下回ったが、現地フィールドワークには12名が参加した。
✓ 現在、マッチング支援中。マッチング件数は、目標５件達成の見込み。

●関係人口の地域との関わり方

- 「複業」マッチングの成立に向けた過程において、地元関係者との交流が図られ、マッチング対象の企業等のみならず、幅広い関係者との交流が図られた。
- 「複業」マッチング成立後には、この機会がきっかけとなり、地域との交流が拡大することが期待される。

●その他の成果

- 特になし

7.課題への対応

●事業で直面した課題とその対応策･解決方法

＜補正予算計上に伴う事業実施期間確保の課題＞

- 事業採択が４月下旬であるため、県予算では９月補正での予算計上とせざるを得ず、事業実施に十分な期間を確保することが難しかった。
- 特に「複業」人材受け入れ企業や団体の発掘に当たっては、担当者のほか、最終決定権者が「複業」人材受け入れの意向を持たなければ、「複業」マッチングの成立が難しく、組織内での意思決定を要するため、準備期間を十分にとる必要がある。
- 今年度は「関係案内人」の育成を併せて実施していたため、「関係案内人」が市町村や地域の商工団体、金融機関等と連携して企業や団体に説明を行った。

●今後の課題と対応方針

- 関係案内人が主体となり、市町村や地元の関係団体と連携し、継続的に実施できる仕組みの構築が課題。
- 「複業」を通じて地域と関わる首都圏人材が、地域の活性化等に関わる機会を創出するなど、関係人口の深化を図る取組が必要。

8.将来への展望

●来年度以降の関係人口とのかかわり方

- 本プログラムを通じて成立したマッチング事案については、引き続ききめ細かなフォローアップを実施する。
- 「遠恋複業」を通じて、都市部で培った経験を地方に貢献できる、好きな場所（岩手）のために自分らしく働くことができるということを発信していただくことで、更なる関係人口の創出・拡大につなげていく。

●「関係人口」施策の展望

① いつでも岩手とつながることができる環境の整備
ex.市町村と連携した情報発信のプラットフォームの構築、AIを活用した地域情報と興味関心・ニーズとの最適マッチングや各種提案などきめ細かなサポート、市町村と連携した移住体験施策の充実　など

② 岩手へのつながりが地域活動への多様な参加や課題の解決などに結び付く「様々な主体の参画によるネットワークの形成」
ex.復興支援を続ける企業等の協働、ふるさと岩手応援寄附や企業版ふるさと納税の活用促進、首都圏で活動している在京コミュニティと連携した交流イベントの実施　など

③ 情報通信技術（ICT）を活用したライフスタイルに合わせた働き方、地域貢献活動など多様な交流の場の創出
ex.5Gの活用による遠隔地から地域活動の解決を支援してくれるような関係人口の創出・拡大、クラウドファンディングやスキルシェアなど、ICT活用による多様なスキルや想いと地域課題の結びつける取組を推進　など